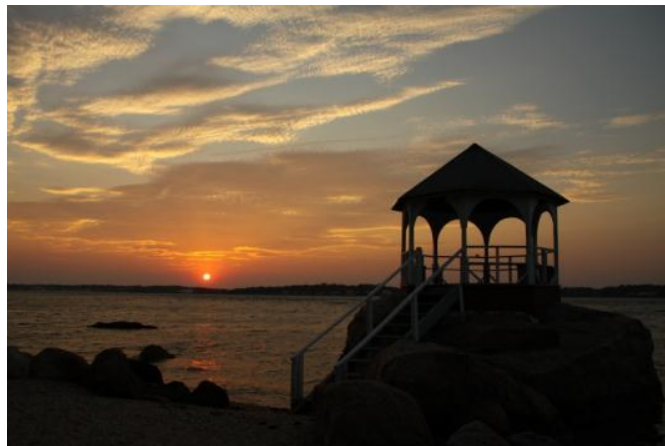


UMC-Japanese Ministry
11 Highgate Terrace
Bergenfield, NJ 07621 USA

新サーキットライダー2012年 夏号



キャンプ・クイニペット名物ガジボ (別名サマーハウス)

United **M**ethodist **C**hurch - **J**apanese **A**merican **M**inistry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

c/o The Church of The Good Shepherd, 326 New Bridge Road, Bergenfield, NJ 07656

Pastor : Rev. Dr. Jun Yoshimatsu 牧師 : 吉松 純

Church: (201) 385-4100 Homepage: www.umc-japan.org

みんなちがってみんないい

神はそれぞれの地の獣、それぞれの家畜、それぞれの土を這うものを造られた。神はこれを見て、良しとされた。

創世記 1 : 25.

体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分の数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様である。つまり一つの霊によって、わたしたちは、ユダヤ人であろうとギリシア人であろうと、奴隷であろうと自由な身分の者であろうと、皆一つのからだとなるために洗礼を受け、皆一つの霊をのませてもらったのです・・・一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

コリントの信徒への手紙一 12 : 12 - 26.

7月15日から27日まで夏恒例のディスカバリー・サマーキャンプに行ってきました。今年は締め切り前に定員一杯となり、一時ウエイティングもでるほどで、キャンプを長いことしていますが、初めて定員割れや申し込みの減少を心配しないで準備に入れました。キャンプはキャンプ中よりも、1年を通しての準備、事前の企画、遂行が実に大変で、多くの方に支えられてやらせていただいていることを思い、改めてパンフの配布などご協力いただいたキャンプ委員の皆様にご心より感謝いたします。



キャンプのひとコマ、クラブクリークにて

今年のキャンプのテーマは大正期の女流詩人金子みすゞの「みんなちがってみんないい」という詩から取りました。金子みすゞの詩は今年の

東日本大震災以降、日本全国で朗読されるようになったそうですが、それは恐らく金子みすゞの詩には読む人を包み込むような温かさ、優しさ、愛おしさがあるからではないでしょうか。自己中心ではなく、人や生き物、自然を思いやる心。

教会はいつから排他的な組織になってしまいました。他宗教を信じる者は勿論、キリスト者同士でも教理、信条が違う、或いは社会的スタンスが違うと受け入れない狭義的な信徒がなんと多いことでしょう。それは「自分が正しく、自分と同じ考えをしない者は間違っている。」という独断、偏見という偽善からきているように思えます。

福音書のイエスの物語を読むと、いつもそのような偽善者、独善主義者が周りにいたことが書いてあります。ファリサイ派の人々、律法学者、祭司長などです。彼らはユダヤ教の経典、モーセの5書に書いてある無いで物事全てを判断しました。その結果、聖日（ユダヤ人の聖日は金の夕暮れから土の夕暮れまで）にイエスが病人を癒したのを目撃するや「安息日を守らない不屈き者」と呼び、皆から嫌われている収税人（徴税人）と付き合うと「罪人と付き合う罪人の仲間」とレッテル付けしました。

今の日本もアメリカも自分だけが正しい、相手は悪いという愚かな発言、行為がたくさんあります。例えば、東北の瓦礫処理。昨年訪れた石巻のあちこちに数階建てのビルに匹敵する高さで瓦礫の山が林立していたのを見ましたが津波被害にあった東北のあちこちで同じような状況になっています。宮城、岩手、福島の三県ではもう処理できないほどの量で、日本全国に助けを求めました。放射能はほとんど検出されなかったということで瓦礫を他県に持って行って処理することになり、行政では許可が下りたのに、いざ瓦礫を運んだところその地で地元民により猛烈な反対抗議が起こったというニュースを何度も見ました。日本中で口にしていた「頑張れ日本、頑張れ東北！」は嘘だったのでしょか？

アメリカでも同様のことが今起こっています。あるファミリー・レストラン（アメリカ東部には無い）の社長が同性愛者批判をし、それに同性愛者が批判したところ、社長を支持する人々

が全国にあるレストランに駆けつけ長蛇の列が出来た。レストランの儲けは数日でそれまでの数倍になったとか。今度はそれに対して同性愛者が避難の抗議デモをし双方で罵り合っている。そんなニュースが放送されました。恥ずかしいことです。これが21世紀に生きる文化人のすることでしょうか。お互いの言い分を聞いて話し合うのではなく、一方的に他者を否定し拒否する。

イエスは罪の女と蔑まれ人々から殺されかかった女性を救い、旧約に「七つの民を滅ぼせ」と書いてあるのですが（申命記7：1-5）、その七つの民の一つ「カナン人」の女の願いを聞き、その婦人の子供を助きました。また異邦人であるばかりでなく、イスラエルに攻め、統治する宿敵ローマの兵隊長（百卒長）の願いすら聞いて、彼の下僕を助きました。ユダヤ人と仇敵の仲で付き合いの全く無かったサマリアの女にも神の救いを説きました。

イエスにとっては人種や性、階級、病気、罪などの差別、区別は無く、目の前で神の救いを求めている人は誰でも隣人であり、誰でも手を繋ぐ仲間なのです。

・・・私の個人的なことですが、実は、今回のサマーキャンプをもって、ディレクターを辞任させていただくことになりました。1981年に大学生だった私は初めてカウンセラーとして参加させていただき、以来、途中でキャンプを中止し数年やれない時期もありましたが、年数にして31年、参加20数回を数えます。SMJ/JAUC主催、諸教会共催のサマーキャンプには数え切れないほどの恵を受けました。多くのキャンパー、カウンセラー、委員会メンバーの方などと素晴らしい出会いを経験し、いつも心清められる感動と愛、勇気、希望を与えられました。

まだ体力的には続けられますが、今後は実践から退いて、後進の指導に当たったり、キャンプ、教育伝道の提唱者として本を書いたり、キャンプ伝道の勧めをしていきたいと思っています。また自分の専門である美術と宗教で大学生や神学生、一般信徒の教育にも携りたいと思っています。その意味では、更なる高みを目指しての決断です。

「みんなちがって、みんないい。」何故なら私たちはみな主イエスに連なる一つの体の肢体だから。それを信じて、より多くの人たちにイエスの愛を伝えていきたいと心から願っています。

サマーキャンプではキャンパーや保護者、カウンセラー、委員の方など多くの方と出会い、イエスの愛、絆を培ってきました。それは私の宝になりました。私が辞めてもサマーキャンプは今後も続きます。皆様どうぞ引き続きキャンプを応援くださいますようお願いいたします。

キャンプ関係者の皆様、長い間ありがとうございました。

どうぞこれからも私の教会内、外での活動をお見守り下さい。

吉松 純

礼拝予定：

8月

5日 聖餐礼拝、Jr.教会TBA

12日 礼拝、Jr.教会TBA

19日 礼拝、Jr.教会TBA

26日 礼拝、Jr.教会TBA

9月

2日：ファミリーキャンプ参加の為、日本語礼拝はありません。

9日：礼拝、Jr.教会TBA、ユースの集い

16日：聖書の学び、礼拝、Jr.教会TBA、ユースの集い

感謝：

*7月1日、8日と昨年帰国された磯山姉が、一年ぶりにアメリカに来られ礼拝出席されました。8日には持ち寄りで磯山夫妻歓迎夕食会も持たれました。磯山姉の日本での信仰生活が祝されますよう心から祈ります。

*食事を持ってきて下さいました皆さんに観謝いたします。

*メッセージに書きましたとおり、7月15日から27日まで今年もサマーキャンプが持たれ、キャンパー23名、カウンセラー6名の総勢29名でNYシェルター島のキャンプ・クイニペットに行ってきました。

UMC日本語ミニストリーからはディレクターの吉松純牧師ほか、2日目の参加となる松尾光姉、初参加の洪ボムソン兄、カウンセラー見習いで村富奈津子さん、キャンパーとして村富佳奈子さん、李（本間）英さん、笠井南さん、野崎理人君（日本から）が参加しました。

キャンプ中、猛暑や雷雨などで予定を変更したこともありましたが、今年も楽しく実り多いキャンプでした。皆様のお祈り、サポートに心より感謝いたします。



2012年キャンプカウンセラー“仲間たち”と、宿舎前で左から石井麻衣子姉、洪ボムソン神学生、伊与田昭夫伝道士、吉松純牧師、村富佳奈子さん、松尾光姉、塚本吉興牧師

*キャンプ中の7月15日はユニオン日本語教会の浅田容子先生に礼拝説教をしていただきました。感謝いたします。

*7月29日（日）キャンプ・カウンセラーとした日本から参加した兵庫県川西市の日本基督教団、畦野教会牧師、塚本吉興先生に説教を取り次いでいただきました。塚本先生は次男の雄希君と共にキャンプに参加し、素晴らしい働きをされました。

*同日礼拝後、牧師館にて持ち寄りで祝会が持たれ、通常の教会員に加えてキャンパー、保護者と総勢30名が集い賑やかな食事会となりました。皆様感謝いたします。

おめでとう！

*去る4月7日、以前パークリッジで日本語ミニストリーをしていた頃の会員で、現在ボストン在住の杉本健太郎兄、テリー姉ご夫妻に女の子、のぞみちゃんが生まれました。のぞみちゃんの上

に、杉本家の上に主の豊かな祝福がありますように。

*キャンプのカウンセラー、Jr. カウンセラーをしてくれた松尾光さんがパークリッジ高校を卒業し名門Syracuse（シラキュース）大学に、デルラン川侯フレデリック君がスカースデール高校を卒業しNY州立Oneonta（オネオンタ）大学にこの9月から進学します。お二人の新しい歩み、大学生活が主に守られ豊かな祝福がありますよう降りのります。おめでとう！

*8月17日（金）の午後から19日（日）の朝までグッドシェパード教会の修養会がNJリーベンゼラ・センターで持たれます。興味のある方は吉松牧師までどうぞ。

*9月1日から3日のレイバーデー週末には2年に一度の東海岸日本語教会合同ファミリーキャンプがあります。まだ部屋に開きがあります。興味のある方、参加希望の方は吉松牧師まで。

お祈りと献金の御協力をお願いします。チェックのあて先はUMC-

JAとし、どのプログラムに献金したいか明記してお送り下さい。

- *自然災害被害者の為、日本の東日本大震災、
- *来年2012年に開かれる第4回東部日本語教会合同ファミリーキャンプの為
- *ハーベスト・タイムのミッションの為
- *消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）に送ります。JOC S海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
- *アフリカの恵まれない子供達やエイズの患者の為に特別献金をしています。
- *パターソンの社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。CUMACは合同メソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

教会の住所：

UMC-Japanese Ministry

The Church of the Good Shepherd, UMC.

326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス(201) 385-4100

ホームページ：<http://www.umc-japan.org>

English Website: www.cgs-umc.org

牧師館：(201) 338-2744

吉松牧師 jun.yoshimatsu@gmail.com

教会学校担当：吉松 泉姉

izumi.yoshimatsu@gmail.com